

FC岐阜の特徴と目指すべき方向

Jリーグが先般纏めた資料の中にFC岐阜にとって嬉しい情報が2つあったので、ご紹介します。

1つは、FC岐阜の昨年度の地位貢献活動数は550回で53チーム中で7番目に多かったことです。社内にはホームタウン・チームとスクール・チームがあり、県内各地での様々な活動を確り支えています。

現在、岐阜県下のすべての42市町村にFC岐阜のホームタウンとしてご支援いただいております。ホームのスタジアムの試合開催日には各種イベントや郷土自慢を披露していただいたり、ご提供頂いたり、感謝の念で一杯です。

そんな各ホームタウン様に感謝をこめて、大人から子供までサッカーの指導や、病院や施設への健康体操の指導など多岐に渡る活動を展開して、サッカーの普及と健康増進に喜んで頂いております。

2つ目は、どこのチームも観客の内訳では、家族で来るのが一番多くなっていますが、FC岐阜では、その比率が約70%と全チーム中6番目に高い比率であったことです。1人の観客に

2~3人のご家族が付いて来られるとすれば、この指標は、年間21回の試合を運営している我々にとって、観客の伸び代がまだまだあることであり、勇気づけられるものです。

毎月2回、年21回のホームゲームの開催で、毎回違う市町村の楽しい様々なイベントを楽しんでいただきながら、県内各地の美味しく、安く、きれいな屋台フードを舌づつみした後で、90分間の緊張感溢れる試合を観戦し、自らも応援を楽しんで頂けるように、FC岐阜が皆様の喜びと岐阜の元気の源になるように邁進いたしています。

4時間のコンパクトな時間の中で、有意義な非日常と感動を皆さんと一緒に楽しみ、充実感と満足感を味わって頂ける1日になるようにしたいと願って、チーム一丸で早晩プレーオフに絡まるように尽力しています。

岐阜では、それを家族で楽しむ傾向が高いことは素晴らしいことであり、その輪がもっともっと広がって、皆様が自慢にできる日本一の市民、県民チームになるようにチーム・スタッフ一丸で尽力していますので、より大勢の皆様のご来場をお待ちしています。



写真：©Kaz Photography/FC Gifu

